

新しい豊かさ協創4 世界の人びとを呼び込む観光協創プロジェクト

(主担当部局：雇用経済部)

プロジェクトの目標

三重県観光の「予感」(三重へ行ってみたい)・「体感」(三重で旅行を満喫)・「実感」(三重は楽しかった、また行きたい)のサイクルが築かれ、観光産業が本県の経済をけん引する産業の一つとして確立されています。そのため、観光旅行者の多様なニーズに対応するさまざまな観光振興の取組を、県民の皆さん、市町、観光事業者、観光関係団体等と連携して進めます。4年後には、観光の基盤づくりが進み、観光旅行者の満足度が向上し、式年遷宮後も観光入込客数が持続的に確保されています。

プロジェクトの数値目標

目標項目	23年度	24年度	25年度	27年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
観光レクリエーション入込客数	－	3,650万人	3,800万人	4,000万人
	3,565万人	－	－	－

目標項目の説明

【目標項目】 1年間に観光レクリエーション等の目的で県内の観光地を訪れた人数について、全国観光統計基準に基づき集計した推計値

進捗状況(現状と課題)

- ・ 「三重県観光キャンペーン」を平成25年4月から実施するため、平成24年10月までに準備会を4回開催し、キャンペーンのコンセプトや実施に向けた体制づくりなどの案を作成しました。平成24年10月11日に協議会を立ち上げ、11月3日にキックオフ大会を開催しました。事業計画作成や企業協賛などキャンペーンの準備を早急に進めるために、幹事会を開催しました。県全体でキャンペーンを盛り上げる機運を醸成していくために、平成24年12月から「三重県観光キャンペーンPR隊」によりPR活動を実施しています。また、来訪者の周遊性・滞在性の向上、三重ファンやリピーターを増やしていくことが必要です。
- ・ 島根県、奈良県と、「ご遷宮」「古事記」など共通テーマを活用し連携した観光PRを始めました。相乗効果を得られるよう取り組んでいくことが課題です。
- ・ 外国人観光客の利便性を向上するため、平成23年1月から外国人向け電話通訳サービスや観光事業者の外国語パンフレットの作成などを支援する「ことなび」を開始しました。観光事業者や旅行者への周知などが課題です。
- ・ 平成24年7月に実施した台湾ミッションでは、「日台観光サミット」に参加し、平成25年度の開催を三重県に誘致しました。開催までの期間を「重点強化期間」に位置づけ、集中的に三重県をPRし、認知度を高めていくことが必要です。

- ・ 中国（河南省）については、平成 23 年 8 月に締結した観光協定に基づき、平成 24 年 5 月に河南省代表団を受け入れ、津市内で河南省観光プロモーションを開催しました。また、平成 24 年 7 月には、河南省の省都である鄭州市の鄭州新鄭国際空港と関西空港とを結ぶ航空便（上海経由）が就航しましたが、河南省における三重県の知名度の向上が課題となっています。
- ・ 中部広域観光推進協議会や、「昇龍道」プロジェクト等広域連携による取組に参画し、連携したプロモーションを行っています。海外からの誘客を促進していくため、広域連携のさらなる有効活用が課題です。
- ・ 海女については平成 24 年 6 月に協議会が立ち上がり、留学生による体験事業の実施や交流会・シンポジウムに取り組むとともに、韓国でのイベントに参加しました。忍者については、平成 24 年 8 月に協議会が設置され、ホームページやロゴマークの作成等に取り組んでいます。地域が一体となって主体的に事業を進めていくことが課題です。
- ・ 三重県観光連盟による人材育成事業（平成 24 年 9～12 月）を支援するとともに、そのフォローアップとして「三重県 can-co 本気塾」事業（平成 25 年 1～2 月）を実施しました。育成した人材が地域において活躍できるよう支援していくことが課題です。

平成 25 年度の実行方針

神宮式年遷宮を契機として、市町や観光関係団体、観光事業者等と連携し、「新しい豊かさ協創プロジェクト会議」における委員の意見を反映しながら、国内外に向けて三重県を PR していきます。国内については、官民一体となった協議会により、平成 25 年 4 月から 3 年間、「三重県観光キャンペーン」として情報発信や誘客促進、地域の受入体制の充実を進めます。また、三重県営業本部と連携し、首都圏等大都市圏で三重の旬の情報を発信します。

海外については、日中関係の状況を注視しながら、「日台観光サミット」の開催をチャンスと捉え、「重点強化期間」を含め台湾における観光 PR、誘客活動に集中的に取り組むなど戦略的な誘客活動の展開を図ります。それと合わせ、「昇龍道」プロジェクトなどとの広域連携による取組を推進します。また、本県が世界に誇る海女、忍者を活用した、国内外の情報発信の強化に引き続き取り組み、観光基盤の強化を図ります。

主な事業

<実践取組 1> 「さまざまな主体との連携による観光 PR・誘客」に挑戦します！

雇用経済部

●（一部新）三重県観光キャンペーン推進協議会負担金

（第 7 款 商工費 第 1 項 商工業費 7 新産業振興費）

当初予算額：(24) 20,000 千円 → (25) 201,200 千円

事業概要：式年遷宮の好機を活かし、官民一体となった推進協議会により、三重県観光キャンペーンを実施します。公募により決定した愛称「実はそれ、ぜんぶ三重なんです！」を活用し、全国に三重の認知度を高める観光情報発信を行います。また、県内においては、周遊パスポートや 5 つの地域部会におけるイベント、おもてなしなどにより周遊性、滞在性の向上をはかり、三重ファンやリピーターを増やします。島根県・奈良県等との連携を進めるとともに、首都圏営業拠点等と一体となり、大都市圏へ三重の魅力を情報発信します。

<実践取組2>「海外での認知度アップによる来訪者の増加」に挑戦します！

雇用経済部

●海外プロモーション推進事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 7 新産業振興費)

当初予算額：(24) 40,019千円 → (25) 25,299千円

事業概要：ミッション派遣による商談会等の開催やフェイスブック・ツイッター等を活用した情報発信により、本県の認知度向上を図るとともに、多言語に対応した受入環境の向上や、国・他府県と連携した広域的取組により、外国人観光客を誘致します。

●(新)日台観光交流推進事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 7 新産業振興費)

当初予算額：(24) - 千円 → (25) 15,830千円

事業概要：「2013日台観光サミット in 三重」が本県で開催されることから、「重点強化期間」として、台湾への観光PR、誘客活動を集中的に行うとともに、多様なネットワークの構築を通じて県内中小企業と台湾企業との連携にもつなげていくなど、台湾との連携・交流の強化に取り組みます。

●国際ネットワーク強化推進事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 7 新産業振興費)

当初予算額：(24) 3,057千円 → (25) 4,494千円

事業概要：産業・観光における企業等の活動を支援し、海外販路の拡大や企業誘致、県内への誘客につなげるべく、姉妹提携先および今後結びつきを強める地域の在日大使館、領事館等とのネットワークを維持・強化し、三重の情報発信、情報収集を行います。

<実践取組3>「来訪を促進する観光の基盤づくり」に挑戦します！

雇用経済部

●世界に誇れる三重県観光モデル構築事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 7 新産業振興費)

当初予算額：(24) 5,000千円 → (25) 4,900千円

事業概要：本県が世界に誇る海女、忍者を活用し、地域と連携して国内外の情報発信の強化を行うなど、新しい三重県観光のモデルを構築します。